

数学科

3年

※DF 特太ゴシック体は学力向上関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>1年次より2年次、2年次より3年次と学年が上がるごとに、数学の用語を理解して、それを使って説明しようとする生徒が増えてきた。また、基礎的な内容は理解できている生徒も多くなった。一人ひとりに反復練習の習慣を身に付けさせ、速く正確に解ける力を伸ばす。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>既習事項を利用して複雑な問題や発展的な問題に対して、しっかりと考える生徒が増えてきたが、苦手意識があり最初からあきらめてしまう生徒もいる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>全体的に授業に対する意欲は高く、前向きに学習する生徒が、2年次よりさらに多くなった。自ら課題を見つけて取り組む生徒や、困っている生徒に教えようとする生徒も増えてきた。なかには基礎的な計算力が身に付いていないためにつまずいてしまう生徒もおり、引き続き個に応じた指導が必要である。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p>引き続き知識を問う問題を丁寧に扱う。大事な用語は繰り返し確認しながら説明する。また、<u>感染症への対策を行ったうえで、数学の用語を使って説明させることにも取り組ませる。</u></p> <p>時間の目安や正確さなどを意識させるような声かけを行い、問題演習を充実させることで、反復練習を大切に学習させる。基礎基本が定着した生徒には複雑な計算問題にも取り組ませる。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>類似問題を繰り返すことにより成功体験を積み重ねさせ、苦手意識をとり、解法のパターンを覚えさせる。また、<u>感染症への対策を行ったうえで、自分の解き方や考え方を他者に説明させること</u>で、様々な考え方を共有し、さらに深い理解につなげる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>基礎クラスでは計算の基礎基本を丁寧に指導する。また、<u>感染症への対策を行ったうえで、生徒が考えたり活動したりする時間を適切に計画し、お互いに教え合うこと</u>で互いの理解をより深めさせる。授業の内容を理解させることで意欲を持続させる。</p>